

利用ガイド





『LB ブートマネージャー + LB パーティションワークス 13』のプログラムと 利用ガイドは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一 部を株式会社ライフボートの事前の明示的な許可なく複製したり、転送し たり、格納したり、他のコンピュータ用に変換したり、あるいは他の言語に 翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

パーティションワークスは、株式会社ライフボートの登録商標です。

Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国 における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

注意

この利用ガイドに記載されている情報は、予告無しに変更されることがあります。

株式会社ライフボートは、本利用ガイドあるいはプログラムに記載されてい る内容に対していかなる誤りが含まれる場合にも、一切の保証を行いません。

EDITION

October 2009 Copyright © 2009 by Lifeboat, Inc. All rights reserved. Printed in Japan

PUBLISHED BY

株式会社ライフボート 東京都千代田区神田神保町 2-2-34 ホームページ: http://www.lifeboat.jp/

目次

| 第1章 LB ブートマネージャーの概要 | 4 |
|-----------------------------------|-----|
| 第2章 マルチブートを行う際の注意事項 | 5 |
| 第3章 Windows XP/VistaにOSを追加する | 6 |
| 3-1 Windows 7 のインストール先パーティションを作成す | 57 |
| 3-2 OSインストール前の設定を行う | 14 |
| 3-3 Windows 7 をインストールする | 21 |
| 3-4 OSインストール後の設定を行う | 27 |
| 3-5 LB ブートマネージャーをインストールする | 31 |
| 第4章 Windows 7 にOSを追加する | 34 |
| 4-1 Windows XPのインストール先パーティションを作成す | る35 |
| 4-2 OSインストール前の設定を行う | 42 |
| 4-3 Windows XPをインストールする | 50 |
| 4-4 OSインストール後の設定を行う | 56 |
| 4-5 LB ブートマネージャーをインストールする | 61 |
| 第5章 その他(Tips、注意点) | 64 |
| 5-1 LB ブートマネージャーのインストール/設定/更新 | 64 |
| 5-2 LB ブートマネージャーのアンインストール | 68 |
| 5-3 OS選択メニューの表示上の注意点 | 70 |
| 5-4 Windows 7 のパーティション構成 | 75 |
| 5-5 他のOSのパーティションを非表示にする方法 | 77 |
| 5-6 Windows XPをインストールする際の注意点 | 82 |

第1章 LB ブートマネージャーの概要 第1章 LB ブートマネージャーの概要

> 『LB ブートマネージャー』を使用することで、1 台のパソコンに Windows 7 や Windows Vista、Windows XP をインストールし、最大 4 つまで切り替えて使うことができます。OS の切り替えは、パソコンの起 動時に表示される OS 選択メニューで OS を選択するだけです。OS を インストールするためのパーティションの作成も、『LB パーティション ワークス 13』を使い、簡単に作成することができます。



- ※ LB ブートマネージャーは、LB パーティションワークス 13 に統合 されています。LB パーティションワークス 13をインストールしたり、 製品 CD から起動することで、LB ブートマネージャーをインストー ル、使用することができます。
- ※ 本利用ガイドは、LB ブートマネージャーの使用方法について解説します。LB パーティションワークス 13 については、同梱されている『公式ガイドブック』をご参照ください

第2章 マルチブートを行う際の注意事項

- ※ LB パーティションワークス 13 の全般的な注意事項は、『補足説明 書』をご参照ください。
- ※随時ホームページ上で更新しますので、最新情報は、ホームページ をご参照ください。

http://www.lifeboat.jp/products/bm/bm.html

- OSのインストール前に、そのOSがお使いのパソコンで使用可能かご確認ください。使用可能でないOSを本ソフトを使ってマルチブートすることはできません。
- Windows XP をシリアル ATA のハードディスクにインストールするには、XP がシリアル ATA のハードディスクを認識できるよう、お客様ご自身でドライバの入手、導入(フロッピーディスクが必要)を行っていただく必要があります。
- 古いパソコンに Windows Vista/7 をインストールするには、パソコン が Windows Vista/7 に対応しているか予めご確認ください。
- パソコン購入時に付属のリカバリーディスクや OEM 版、アップグレード版を使い、OS を追加インストールすることはできません。別途 製品版の OS をご用意ください。
- 2台目のハードディスクや外付けハードディスクにOSをインストール して切り替えることはできません。Windows XP/Vista/7は1台目の ハードディスクの基本パーティションにインストールする必要があり ます。
- 切り替え可能な OS は Windows XP/Vista/7のみです。サーバ OS や Linux には未対応です。
- 他のブート管理ソフト(システムコマンダーシリーズを含む)との併用 はできません。
- 切り替えられる OS 数は最大で 4 つになります。

本章では、ご利用の OS が「Windows XP」や「Windows Vista」で、追 加 OS が「Windows 7」「Windows XP」「Windows Vista」の場合の追加 手順をご紹介します。操作例として、Windows Vista がプリインストー ルされた PC に Windows 7 を追加する手順をご案内していますが、 「Windows XP/Vista」を追加したい場合などは、「Windows 7」を 「Windows XP/Vista」と読み替えて追加をお試しください。同じ方法 で、Windows XP/Vista の異なるエディションを共存させることも可能 です。

- ※以下の方法は、あくまで一例となります。ご使用の環境によっては、共存できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 追加インストールを行う前に、必ず既存データのバックアップを行ってください。
- ※ 追加インストールを行う前に、インストールを行う OS がその PC に対応しているのか、必要なドライバ類が提供されているのかを PC のマニュアルまたはメーカにご確認ください。

ここで説明する操作の流れは以下の通りです。

- 3-1 Windows 7 のインストール先パーティションを作成する
- 3-2 OS インストール前の設定を行う
- 3-3 Windows 7 をインストールする
- 3-4 インストール後の設定を行う
- 3-5 LB ブートマネージャーをインストールする

3-1 Windows 7 のインストール先パーティションを作成する

ハードディスクに空き領域がない場合(または、あってもサイズが小さく て Windows 7 をインストールできない場合)は、LB パーティションワ ークス 13 を使用して、インストール先のパーティションを作成します。 パーティションのサイズ変更を行う前に必ずエラーチェック、バックア ップを実行してください。手順は別冊の公式ガイドブック『ステップ3 LB パーティションワークス 13 を使用する前の注意事項』を確認して ください。

(1) LB パーティションワークス 13 を製品 CD から起動します。製品 CD からの起動方法のついては、公式ガイドブックの『ステップ6 CD 起動 でパーティションを操作する』をご参照ください。



(2) [ライセンス契約書の条項に同意します]にチェックを入れ、[同意す



(3) アプリケーションランチャが表示されたら、[LB パーティションワーク ス 13]をクリックします。



(4) LB パーティションワークス 13 が起動します。この例では、パーティションは1つで、Vista がインストールされています。Vista のパーティションを小さくして Windows 7 をインストールするためのパーティションを作成します。

| 1.0 Fartition Wents 3.5 Ext 2.5 (1) ール(1) 変更(1) ウイザード(W) ハードディスクロ) パーティション(P) 表示(V) ヘルプ(H) | |
|--|---|
| ● 業 0, 前日 100 mm 100 | NL7(H) |
| ローカル ディスク (G.) ローカル ディスク (G.) ドライズ文字: (0) タイク: 基本 アィール シスク本 ア・ドレング: 54300 ア・ドレング: 54300 ア・Frieder ア・ディング: 54300 ア・ディング: 543000 ア・ディング: 543000 ア・ディング: 543000 ア・ディング: 543000 ア・ディング: 543000 | AND - FX0- ANF - 5305 AD ANTES 20 DB 29 OB 20 OB 20 OB 20 OB 20 OB |
| 男表示: () | ka Da |
| イスカマップ ボーシット ハードディフト n (工程カエデル) | |
| 0-54 7120 (C.) 599 GB NTFS | |
| NTFS FAT32 FAT16 Linux Ext2 Linux Ext3 | ReiserFS 📕 Apple HFS |
| | 11P 💐 A 段 弛 😥 📾 |

- ※ Windows 7 をインストールするには、16 GB (32 ビット版) または 20 GB (64 ビット版)以上のパーティションが必要になります。 Window 7 用のパーティションがあり、容量が足りない場合などは、 『空き領域の移動ウィザード』を使用して、パーティションサイズを 調整してください(詳細は、別冊の『公式ガイドブック ステップ 14、 15』をご参照ください)。
- ※ Windows 7 のインストール先のパーティションを既に用意してあり、 サイズ変更が必要でない時は、『3-2 OS インストール前の設 定を行う』に進んでください。

(5) Vista がインストールされているパーティションを選択して、[パーティシ

| ョン」ーしパー | -ティションの |)移動/サイス | く変史」 を選掛 | くします。 |
|--|---------|---------|-----------------|---------|
| the state of the s | | | | and and |

| (パーティションタンタ) 秋本(V) ハルフ(H) | |
|---|---|
| パーティションの作用(の) パーティションのフォーマットア) パーティションの削除の) | 0154h 0.4.700 |
| | ■ 97: 4A0-732-A07-226 200: 40217073 2010 - 40217073 2010 - 40217073 2010 - 40217073 2010 - 40217073 2010 - 402170 4021 |
| | |
| | パーラクシンの利用に、 パーラインンの時間に、 パーラインシンの時間に、 パーラインシンの時間に、 パーラインシンの時間に、 パーラインシンの時間に、 パーラインシンの時間に、 パーシンの時間に、 パーシンシンの時間に、 パーシンのの間に、 パーシンシンのの間に、 パーシンシンのの間に、 パーシンシンのの目前に、 パーシンのの間に、 パーシンシンのの間に、 パーシンシ |

(6) パーティションの境界をドラッグしてサイズを小さくします。設定が完 了したら[はい]をクリックします。

| 🍥 Partition Works | <u>?</u> × |
|---|------------|
| システム パーティション(C・)の移動/サイズ変更を行いますか? NTFSパーティション[ラベルなし]、(C・)の移動/サイズ変更を行おうとしています。 | |
| ベーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) | |
| 299 GB NTFS (味調り当て) | |
| | _ |
| ボリュームサイズ: 30, D13 MB~61,436 MB | |
| 前の空き領域: 07 🔥 🔤 🥻 イト – 50,422.73 MB | |
| 後の空き領域: 30. 4+++ - 50,414.92 MB | |
| | |
| 「セクタからセクタへの移動」 | L-hX |
| できます。より正確に移動できますが、処理に時間がかかります。このオプションを選択す | これ" ふとパ |
| ーティションのサイズは変更できません。 | |
| (はいい) いいえい | 0 |

(7) 未割り当て領域にパーティションを作成します。未割り当て領域を選択して、[パーティション]-[パーティションの作成]を選択します。

| LB Partition Works 13 にようこそ! | | | |
|--------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| シール(1) 変更に) ウィザード(い) ハードディスクロ) | パーティションタリ 表示い) ヘルプトロ | | |
| MAR MARTS REPRODET TURT | 11-7-12-02-021-23-21 | Michiae Artho | |
| 7+29 21- 147 | パーティジョンの利用権は立 | | |
| 未割り当て領域 | パーティションの特徴のサイス完定(P) ファイルシステムの変換(2) | | |
| \$H94X: | ドライブ文子の取り出ての ドライブ文子の取り後の パーティションの用表面(の) パーティションの用表面(の) パーティションの用方ですの パーティションの別プライブの | | |
| B A H-7 Cricens | 家更(1) | MANDER THE BUILDING CONTENTS | |
| | ▲ 単子ン・の ティルシステムの想合性F1×200 セクタの表示/編集(n) | 2007/2001 Cdl. BOUT 7172041717747 | |
| R . | プロパジィの | | |
| 742,57897 | | | |
| ペーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) | | | |
| 0-55 7125 (C) 299 00 NTFS | (*20) ISO 00 | | |
| NTFS FAT22 FAT16 | 🔽 Linux Est2 🔽 Linux Est2 | 📮 FeixerFS 📕 Apple HFS | |
| 新しいパーティションを作成してフォーマットします | | 19 💐 古根 🐐 🕼 🚥 | |

(8) 下記のダイアログが表示されます。ボリュームラベルにはインストール 時に識別しやすいように、『7』や『Win 7』などと入力します(このボリュ ームラベルが OS 選択メニューで表示されます)。設定が完了したら、 [はい]をクリックします。

| 🗞 Partition Works 🔹 💽 🗙 |
|--|
| ディスク 0に本当に新しいパーティションを作成しますか? 新しいパーティションを(未割り当て)、30 GBに作成しようとしています。新しいパーティションのサイズ、 位置、ファイルシステムを選択してださい。 |
| ベーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) |
| 0 7 (E) 30 GB NTFS |
| ・ ためオスパーテントへの発行 サービーテント・ レー |
| 作成するパーティンコンの性報: 単本サイーディンコン ・ 作成するパーティンコンの性力で: 30784 単 7 MB~30 784 MB |
| 前の未割り当て領域を指定してだだい: 0 引 0 MB~30.772 MB |
| 後の未割り当て領域を指定してください: 0 🚽 0 MB~30,776 MB |
| 新しいパーティション用にファイルシステムを選択してください(S): NTES |
| 新しいポリューム ラベルを入力してください(V): 7 |
| ドライブ文字を指定してください(D): |
| (※) 詳細オジション (いいえ(N)) |

※ ボリュームラベルは半角英数字(10 文字以内)で入力してくださ い。日本語は表示できません。

(9)メイン画面に戻りますので、変更後のパーティション構成を確認しま

| LB Partition Works 13 (2.1.) | And the second se | | _1£1 × |
|-----------------------------------|---|--|----------|
| ール(T) 変更(C) ウィザード(W) パ | ードティスクロ) パーティション(ア) 表さ | FION ANDON | |
| 🖉 💥 🔘 | 5. C | S | |
| 油用 観察する 実足戸谷の表示 | ADDEA DAVIO 11 11-3 | 1232-001380 12/294898-001940 AJU-2(H) | |
| | | | |
| 7 (E.) | | | - |
| | ドライブ文字: (E) ポリューム ラベル: 7 タイブ: <u>タ</u> オ ファイル システム: NTFS ルート エンドリ: 16 ブート単位のセク外数: 8 クラスタ単位のセク外数: 8 | 997月4番号: 000-000-000-000 ポーディクッシロ: 00271075 WT5 パーラン: 302 合計サイズ: 30.08 ポープシングサイズ: 30.08 アクラルサイズ: 30.06 アクラルサイズ: 30.06 アクラーズ: 30.06 アクラ | Da |
| R-7-()-)-01840/ MPR-27-()-2-01 | サイズまま 回避やサイズを変更します。 72上 | | |
| このウィザードは、潮沢し | たパーティションのフォーマットをご案3内にま ヒパーティション上のデータはすべて清去さ | す。 1ます! | |
| abust | | | |
| ペーシック ハードディスク 0 (不明法 | モデル) | | |
| ローカル ディスク (C-) 299 GB NTFS | | 7 (E) 30 GB NTFS | |
| NTFS FAT32 | FAT16 Linux Ext2 | 🔽 Linux Ext) 📕 ReiserFS 📕 A | ople HFS |
| Contraction Contraction | | | E Cars . |

ハードディスクのエラーチェックは行われましたか?ハードディスク やファイルシステムに問題があると、処理に失敗する場合がありま す。まだ行われていない場合には、『破棄する』ボタンをクリックして 処理を中止し、エラーチェックを実行後に操作を行ってください。手 順は公式ガイドブックの『ステップ3 LB パーティションワークス 13 を使用する前の注意事項』をご参照ください。

(10) 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[はい]をクリックします。



(11) 処理が開始されます。処理が完了したら[閉じる]をクリックします。



※ 処理中は電源を切ったり、処理をキャンセルしないでください。

以上、操作で、Windows 7 をインストールするためのパーティションが作成 されました。次節で、OS をインストールする前の設定を行います。

3-2 OS インストール前の設定を行う

OS のインストールを行う前に、Windows 7 のインストール先以外のパ ーティションをすべて非表示にして、アクティブ パーティションを変更 する必要があります。

※以下の処理は、必ず製品 CD から起動して行ってください。

(1) Windows Vista のパーティションに対する設定

 Windows 7 のインストール時や OS 選択メニューで識別しやすくなる ように、Vista のパーティションにボリュームラベルを設定します。 Windows Vista がインストールされているパーティションを選択し、 「パーティション]-「変更]-「ボリュームラベルの変更]を選択します。



ボリュームラベルに『Vista』などと入力して[はい]をクリックします。ここで入力したボリュームラベルが OS 選択メニューで表示されます。



※ ボリュームラベルは半角英数字(10 文字以内)で入力してくださ い。日本語は表示できません。 3. Windows Vista のパーティションを選択して、[パーティション]-[パー ティションの非表示]を選択します。

| B Partition Works 13にようこそ! | | <u>_ 8</u> |
|--|---|---|
| ツール(T) 変更(C) ウィザード(W) ハードディスクの) 7 | (ーティション(の) 表示(の) ヘルブ(の) | |
| 7-029 E2- 0.167 | パーティションの作成(C) パーティションのフォーマット(F) パーティションの削除(D) | 078580 ~J#-7(H) |
| ローカル ディスク (C.) | パーティションの移動/サイズ変更(M) ファイルシステムの変換(V) | |
| K) 1 | ドライブ文字の割り当て(4) ドライブ文字の割除(1) | 番号: 6AA0-F762-A0F7-3365 ンID: 0.07 NTFS |
| ファイル ルー フート単位の カラスタ単位の | パーティションの非表示的 パーティションの表示(*) パーティションのアクティブ(*) パーティションのアクティブ(*) | 4.7. 200 0B 4.7. 209 0B 6.4.8. 209 0B 6.4.8. 107 0B 6.4.8. 107 0B 6.4.8. 107 0B 6.4.8. 107 0B 6.4.8. 107 0B 7.4.7. (2.4.8. 10.1.10) 7.4.7. (2.4.1.10) 7.4.7. (2.4.1.10) 7.4. |
| | 変更(/) ・ | and the fill |
| 日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日 | ファイルシステムの整合性チェック(5) セクタの表示/編集(V) | - |
| このウィザードは、東沢したパーティションル 著者:フォーマットを行うとパーティション上 | プロパティ(P) |] |
| 5420397 | ****** | |
| | | 1 |
| 299 GB NTFS | 7 (E.) 30 GB NTFS | |
| NTFS FAT32 FAT16 | Linux Ext? 🚺 Linux Ext3 | 🧧 ReiserFS 📕 Apple HFS |
| 選択したパーティションを非表示にします | | 39 👻 人般 🌮 🗊 🕬 |

4. 確認画面が表示されるので、[はい]を選択します。

| Searctition Works | × |
|---|---|
| ∧ パーティションを非表示にしますか? | |
| パーティション(C:) Vista, NTFSを非表示にしようとしています。パーティションを非 表示にすると、ドライブ文字が変更される可能性があります。 | |
| | |

5. Windows Vista のパーティションを選択し、[パーティション]-[パーティションの非アクティブ]を選択します。

| 🍥 LB Partition Works 13 にようこそ! | | × |
|---|---|---|
| ツール(T) 変更(C) ウィザード(W) ハードディスク(D) | パーティション(P) 表示(V) ヘルプ(H) | |
| ● | パーティションの作成(C) パーティションのフォーマット(F) | 参 減の移動 ヘルプ(H) |
| ディスク ビュー ヘルプ | パーティションの削1余(D) | |
| ローカル ディスク (C:) | パーティションの移動/サイズ変更(M) ファイルシステムの変換(V) | |
| ド: ポリュー ファイル ノート単位 | ドライブ文字の割り当て(A) ドライブ文字の削除(I) パーティションの非表示(H) パーティションの表示(H) パーティションの表示(H) | #号: <u>6AA0-F762-A0F7-3395</u>) (DD: D <u>x17 基表示NTES</u> 79): <u>801</u> 1 (式: 299 GB 1 (式: 299 GB 単純は: 107 GE |
| クラスタ単位 1 2 2 2 3 1 2 3 1 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | パーラインヨンのチアウティブ(n) パーティションの非アウティブ(n) 変更(r) 表面テスト(r) えファイルシステムの整合性チェック(c) | 間178:19:16日 下7:2:1(な) 養元:(な) |
| ドレージャンタンター・マット ・ ・ ・ | セクタの表示/編集(V) プロパティ(P) | _ |
| ディスクマップ | | |
| ローカル ディスク (C-) 299 GB NTFS | 7 (E:) 30 GB NTFS | |
| NTFS FAT32 FAT16 | 📃 Linux Ext2 📄 Linux Ext3 | ReiserFS Apple HFS |
| 選択したパーティションを非アクティブにします | | JP 💐 A 般 🐃 👘 🛤 🗘 |

6. 確認画面が2回表示されるので、[はい]を選択します。





7. 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して、確認画面で [はい]をクリックします。

| D | 🥎 Partition Works | ? × |
|----|----------------------------------|-----|
| ◎用 | 保留中の変更を適用しますか? | |
| | □ 今後このメッセージを表示しない 【【は、XY】 (いいえ(N | |

ディスクビューで、Windows Vista のパーティションを選択して、非表示(非表示: はい)、非アクティブ(アクティブ: いいえ)になっていること、ボリュームラベルが変更されたことを確認します。



(2) Windows 7 をインストールするパーティションに対する設定

1. Windows 7 をインストールするパーティションを選択して、[パーティ ションル-「パーティションのアクティブ」を選択します

| <u>/ _ /] [/ /] /] / </u> | 07777772医 | $\mathcal{N} \cup \mathcal{A} \neq 0$ |
|---|--------------------------------------|---------------------------------------|
| 🇞 LB Partition Works 13 にようこそ! | | X |
| ツール(T) 変更(C) ウィザード(W) ハードディスク(D) | パーティション(P) 表示(V) ヘルプ(H) | |
| | パーティションの作成(C) | |
| 道用 破棄する 変更内容の表示 元に戻す | パーティションのフォーマット(F) | 域の移動 ヘルブ(H) |
| ディスク ビュー ヘルプ | パーティションの剤(P余(D) | |
| | パーティションの移動/サイズ変更(M) | |
| 7 (E) | ファイルシステムの変換(V) | |
| | ドライザ文字の割り当て(A) | |
| | ドライブ文字の削縮全の | 0298-1311-9813-0339 0x07 NTES |
| | パーティンコンの非表示(4) | 301 |
| 771/ | パーティンの表示の | 30 GB |
| ブート単位の | | 864 MB |
| 95人9单位0 | R-Trouvolty/Tratedia | 299 GB |
| | バーブインコン099Fアクリイン(N) 本面 a a | - UUX |
| ····· | · 変更(Ÿ) ▶ | |
| □ / パーティションの移動/サイズ変更 | 表面テスト(T) | |
| 展 選択したパーティションの位置やサイズをす | ──────────────────────────────────── | |
| ↓ ◎ パーティションのフォーマット | セクタの表示/編集(V) | |
| | プロパティ(P) | |
| 日 · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | - - |
| # 12 https:// | | |
| 7479797 | | |
| ベーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) | | |
| 🔽 ローカル ディスク (*) | 7 (E-) | |
| 29.9 GB NTFS | 30 GB NTFS | |
| | | |
| NTFS FAT32 FAT16 | Linux Ext2 Linux Ext3 | ReiserFS Apple HFS |
| 選択したパーティションをアクティブにする | | JP 💐 A 般 🐃 🗌 🌒 CAP5 🗧 |

2. 確認画面が表示されるので、[はい]を選択します。



3. 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[はい]をクリックします。



 ディスクビューで、Windows 7 のインストール先パーティションがアク ティブ(アクティブ: はい)になっていることを確認します。



(3) その他のパーティションに対する設定

以下のように、Windows Vista、Windows 7 用のパーティション以外に も、リカバリー領域やデータ用のパーティションがある場合には、それ らのパーティションも(1)と同様の手順で非表示に設定してください。



- ※ リカバリー領域など、最初から[非表示]に設定されているパーティションもあります。その場合には設定は必要ありません。
- ※ ここで設定した内容は後で[表示]に設定し直すことになりますの で、どのパーティションを非表示にしたか分かるようにメモ等を残 してください。

3-3 Windows 7 をインストールする

(1) Windows 7 をインストールする前に前項の設定が行われているのか、 必ず確認してください。パーティションの非表示の設定、アクティブ/ 非アクティブの設定が行われていないと、Windows 7 のインストール によって、既存の OS が起動できなくなる可能性があります。



【上記以外のパーティション】



- (2) Windows 7 のインストール DVD にセットします。
- (3) LB パーティションワークス 13 を終了して、メニューから[再起動]を選 択します。



(4) Windows 7 のインストール DVD からブートされ、以下のメッセージが 表示されます。このメッセージが表示されている間に、何らかのキー (たとえば〈Enter〉キーなど)を押します。



上記のメッセージが表示されずに以下のエラーが表示された場合に は、PC の BIOS で CD/DVD からの起動が優先されているのかを確 認してください。BIOS の設定方法は PC によって異なるので、PC のマニュアルを参照するか、PC メーカへご確認ください。このメッセ ージは、キーを押すのが遅れた場合も表示されます。その場合は PC を再起動してやり直してください。

BOOTMGR is missing Press Ctrl+Alt+Del to restart

(5) しばらくすると、Windows 7のインストールウィザードが起動します。[次 へ]をクリックします。



(6) [今すぐインストール]をクリックします。



(7) ライセンス条項を確認して[同意します]にチェックを入れ[次へ]をクリックします。

| ライセンス柔順をお読みください。 | |
|--|------|
| マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項 WIRDOWS 7 ULTIMATE 本マイクロンフト ソフトウェア ライセンス条項 (以下、「本ライセンス条項としいます)は、お客福 と Microsoft Corporation (だけは多客種の)が危害地に応じた問題者は、以下、「マイクロンフト上 います)との語いを現め、スキュ XTO のライセンス条件を発達して、お務らったない、ホライセン ス条項。」と見のソフトウェア たよび シフトウェアが記録されたシディ (以下以降れてイロッフト ウェアとしいます)に急速的などす。XTO つライロン(ARW)についた、そして、シス保健が付加、(いた 場合があります。その場合は、何時はれらッイセンス条項の)で回いた、長年の12人間が行加、(いた 場合があります。その場合は、何時はれらっイセンス条項の)で回いた。長年の12人間が行加、(いた また)、本ライセンス条項は本ソフトウェアに関連する下記マイクロッフト等品にも連用されるものとし ます。 ・ 更新プログラム | 3 |
| 同意(ます(A) | - |
| | ~(N) |

(8) 『新規インストール(カスタム)』をクリックします。



(9) 入力したボリュームラベルを参考に Windows 7 のインストール先を選択して[次へ]をクリックします。

| 名前 | 合計サイズ | 空参辅坡 | 種類 | - |
|--------------------------|---------|----------|--------------|--------------|
| → ディスク 0パーティション 1: Vista | 29.9 GB | 19.2 GB | 75(7) | _ |
| - 71250 K-7192 21 | 90.1 GB | 30.0 GB | 9756 | 0 |
| | | | | |
| | | | | |
| 49.最新の情報に更新(型) | | 1517 175 | a) (ITHI)(A) | |
| @ F54/R~@@aidaida() | | | | |
| | | | | |
| | | | | 44.00 |

(10) インストールが開始されます。



(11) 以降はウィザードに沿って Windows 7 のインストールを進めます。インストールが完了すると、Windows 7 が起動します。



以上で、Windows 7 のインストールが完了しました。ただし、現状では Windows 7 しか起動しません。次ページ以降の手順で OS インストール後 の設定、LB ブートマネージャーをインストールして、マルチブートできる ようにします。

3-4 OS インストール後の設定を行う

(1) LB パーティションワークス 13 を製品 CD から起動します。 製品 CD からの起動方法のついては、別冊の公式ガイドブック『ステ ップ6 CD 起動でパーティションを操作する』をご参照ください。



(2) [ライセンス契約書の条項に同意します]にチェックを入れ、[同意する]をクリックします。



(3) アプリケーションランチャが表示されたら、[LB パーティションワーク ス 13]をクリックします。



(4) LB パーティションワークス 13 が起動します。

| LB Partition We | orks 13 Ed 2. El | - HT about the T | | A REAL | | | | - (6) × |
|-----------------|------------------|--|---|---|--|--|-----------|-----------|
| 10-11(1) RE(1) | 0 *EPROR | | 19-7-7-99 | 0116 28 | anas/174th | ×570H0 | | |
| 7129 Ez- | AN7 | | | | | | | |
| ローカルラ | ディスク (*) | | | | | | | |
| | 2 | ドライフた。 ポリューム ラペ カイ ファイル システ ルート Tント ブート単位のセク対 ウラスタ単位のセク対 ウラスタ単位のセク対 | F: (*) ル: Virta 7: 基本 ム: <u>NTES</u> リ: 54338 後: 8 後: 8 | シリアA4 パーティシュ NTF8 パーティシュ の計ササ パーティシュンサ パーティシュンサ 変動 アクラ 兼日 | 時代: <u>GAAD</u> ンロ: <u>Def</u> コン: 30 <u>1</u> イズ: 299 G 利気: 107 G 間緒: 107 G 間緒: 191 G 間緒: 191 G 間緒: 191 G | 1762-8017-33 BBTTNTFS B B B B B B | 65 Lg | |
| E A R | -7 (242)07#- | 72b | | | | | | |
| 2 🚭 🚆 | ウィザードは、選択 | たパーティションのフォーマ とパーティション上のデータ | ットもご案内します。 はすべて消去されま | F 1 | | | | - |
| Ŧ+7,5797 | | | | | | | | • |
| ベーシック ハード | ディスク 0 (不明) | とモデル) | 1.00 | | | | | |
| 0~299 GB N | ና አ ታ (•) በFS | | | 7 (C:) 30 GB NTFS | | | | |
| NTFS | FAT32 | FAT16 | Linux Ext2 | T Linux Ex | a 🗖 | ReiserFS | Apple HF: | |
| | | | | | | JP 🍭 | ▲般≫ | 10 cars : |

(5) 先ほど非表示にした Vista のインストールされているパーティションを 選択して[パーティション]-[パーティションの表示]を選択します。

| 🍓 LB Partition Works 13にようこそ! | | X |
|---|--|---|
| ツール(T) 変更(C) ウィザード(W) ハードディスク(D) | パーティション(P) 表示(V) ヘルプ(H) | |
| ☆用 読表する 変用 読表する 素更均符の表示 元に戻す ディスタ ピュー ヘルブ | パーティシャンの作成(ロ) パーティションのフォーマット(F) パーティションの相称(の) | 016ah ~1/-300 |
| ローカル ディスク (*) (*) | パーティシェンの移動/サイズ変更の0 ファイルシステムの変換(M) ドライブ文字の動わ当て(A) ドライブ文字の動り得(m) | • • 6440-F762-40F7-3365 • 047-JEE-ENTES |
| アイル ルー フトト単位(りラスタ単位(| パーティンのの非表示的 パーティンルンの表示的 パーティンルンのアクティブの パーティンルンのアクティブの | 909 08 999 08 107 08 191 08 (V.V. |
| а <u>К-7/92/0ВМ/917ж</u> жилл: | 変更(*) 表面テスト(7) ファイルシステムの整合性チェック(c) セクタの表示/編集(*) | |
| 日 ご このウィザードは、違いしたパーティンシュー 警告:フォーマットを行うたパーティンシュー | プロパティ(ア) | |
| (r. toh n. hit the (TRB) is a | | |
| ローカル ディスク (*) 299 GB NTFS | 7 (C-) 30 GB NTFS | |
| 📕 NTFS 📑 FAT32 🔳 FAT16 | 🔲 Linux Ext2 🦳 Linux Ext3 | 📕 ReizerFS 📕 Apple HFS |
| 選択したパーティションを表示します | | JP 🍭 人般 🌮 🚯 🕬 🗧 |

(6) 確認画面が表示されるので[はい]をクリックします。

| 🍇 Partition Works 🤶 🤶 | × |
|--|---|
| パーティションを表示にしますか? パーティション(*) Vista, NTFSを表示にしようとしています。パーティションを表示す ストシロ・オスト、ドライブウェアが変更される可能性があります。 | |
| | |

(7) その他にも非表示にしたパーティションがあれば、同様の手順で表示 状態に変更します。

(8) 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[はい] をクリックします。



(9) 処理が開始されます。処理が完了しましたら[閉じる]をクリックします。

| 0 82 | 🧐 全体の進行状況 100 % | × |
|---------------------------------------|--------------------------------------|-----------|
| 明 暗用する 定日 | infrointines. | |
| スクビュー ヘルフ | | |
| ローカル ディス | 5 971#ITOI#IT: | |
| - | 12:00400: 00:00:00 39/3400: 00:00:00 | |
| | (MALANDERNE) MALANDERN | |
| | ● すべての時代がられてしました | - |
| - | | |
| | | |
| A-70 | | |
| ARREN 23 | | Da |
| of the | <u>.</u> | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | |
| 19797 Jack B. 197 - 11 | | |
| | | |
| 29.9 GB NTFS | | |
| | (s) Inist75a0 | 5(0) |
| ATTES | | Arola HES |



以上、で OS インストール後の設定が終わりました。次節で LB ブートマネ ージャーをインストールします。

3-5 LB ブートマネージャーをインストールする

(1) [ツール]-[LB ブートマネージャーのセットアップ]を選択します。

| 後LB Partition Works 13にようごぞ ! | | | _16 × |
|--|---------------------------------|---|---------------|
| シール(n) 安要(に) ウイザード(W) ハード ログファイ()(冬表示(L)) | ディスクロ) パーティション(P) 表示(| N AND 00 | |
| ログファイルの送信(四) | す 行う道し パーティンス | CONTEST DESILEDERAD AUG/H | 2 |
| 3 ロブートマネージャのセットアップ(0) | | | |
| リカパリーメディアビルグ(R) | 20 | | - |
| → ファイル転送ウィザード(P) | | | |
| 殿 定(5) | 1-4 5KH: Vitta | クリアル番号: 0440-1702-400 パーティションID: 0407 NTFS | 1-6.85 |
| 終了(t) Alt | -X 947: 44 | NTFS バージョン: 101 合計サイズ: 299.0日 | |
| | ルートエントリ: 54338 リート単位のセクタ数: 8 | パーティションサイズ: 299.08 使用環境: 107.08 | |
| 5 | スク単位のセクタ数: 🔒 | 空き領域: 19.1 GB アクティブ: いいえ | |
| 1 | | 非表示: いいえ | |
| - | | | |
| ABUT-2-2-2-2000 | やサイズを変更します。 | | |
| A 15-71752024-321 | | | |
| 日本 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10 | ティション上のデータはすべて満去されま | ka i | <u>.</u> |
| ディフクマップ | | | • |
| ペーシック ハードディスク 0 (不明なモデ | £) | | |
| ローカル ディスク (*) | | 7 (G.) | |
| 999 GB NTES | | SO GB NTHS | |
| | | | |
| NTFS FAT32 | FAT16 Linux Ext2 | Linux Ext3 ReiserFS | Apple HFS |
| 起動オプシモの管理 | | JP | ● A很~ ● Maria |

(2) LB ブートマネージャーのセットアップウィザードが起動します。[次 へ]をクリックします。



(3) オプションの設定画面が表示されます。変更する必要がない場合には、「次へ]をクリックします。

| ゴートマネージャー セットアップ ウィザード | | | ?× |
|---------------------------------------|---------|------------|----------|
| ートマネージャー オブション 適用したい設定項目を選択してください。 | | | |
| | | | |
| /ート メニュー オプション | | | |
| ・ 通常モード | | | |
| ▶ 最後に起動したOSが自動起動するまでの時間: | 15 秒 | ÷ | |
| ~ 非表示モード | | | |
| LB ブートマネージャーのスタートアップメッセージの表示時間: | 15 秒 | * | |
| LB ブートマネージャー起動用のホットキーを指定: | F1 | Ψ. | |
| | | | |
| 目沢した設定を適用するには、 じ★ヘ」をクリックしてください。 | | | |
| | < 戻る(B) |) (N) > | キャンセル(C) |

- ※ 設定の各項目内容については、『5-1 LB ブートマネージャーの インストール/設定/更新』をご確認ください。
- (4) インストール処理が実行されます。完了すると以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。



(5) LB パーティションワークス 13 を終了します。 製品 CD を取り出してメ ニューから、[再起動]を選択します。



(6) 再起動後には、以下のように LB ブートマネージャーの OS 選択メニ ューが表示され、Windows Vista と Windows 7 の切り替えが可能にな ります。キーボードの<↑><↓>キーで、OS を選択し、〈Enter>キー を押すとOS が起動します。



※表示についての詳細は、『5-3 OS 選択メニューの表示上の注 意点』をご参照ください。

第4章 Windows 7 にOSを追加する

本章では、ご利用の OS が「Windows 7」で、追加 OS が「Windows 7」 「Windows XP」「Windows Vista」の場合の追加手順をご紹介します。 操作例として、Windows 7 がプリインストールされた PC に Windows XP を追加する手順をご案内していますが、「Windows 7」に「Windows Vista/7」を追加したい場合などは、「Windows XP」を「Windows Vista/7」と読み替えて追加をお試しください。同じ方法で、Windows 7 の異なるエディションを共存させることも可能です。

- ※以下の方法は、あくまで一例となります。ご使用の環境によっては、共存できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 追加インストールを行う前に、必ず既存データのバックアップを行ってください。
- ※ 追加インストールを行う前に、インストールを行う OS がその PC に対応しているのか、必要なドライバ類が提供されているのかを PC のマニュアルまたはメーカにご確認ください。

ここで説明する操作の流れは以下の通りです。

- 4-1 Windows XP のインストール先パーティションを作成する
- 4-2 OS インストール前の設定を行う
- 4-3 Windows XP をインストールする
- 4-4 OS インストール後の設定を行う
- 4-5 LB ブートマネージャーをインストールする

4-1 Windows XP のインストール先パーティションを作成する

ハードディスクに空き領域がない場合(または、あってもサイズが小さく てWindows XP をインストールできない場合)は、LB パーティションワ ークス 13 を使用して、インストール先のパーティションを作成します。 パーティションのサイズ変更を行う前に必ずエラーチェック、バックア ップを実行してください。手順は別冊の公式ガイドブックの『ステップ3 LB パーティションワークス 13 を使用する前の注意事項』を確認して ください。

(1) LB パーティションワークス 13 を製品 CD から起動します。 製品 CD からの起動方法のついては、別冊の公式ガイドブック『ステ ップ6 CD 起動でパーティションを操作する』をご参照ください。



第4章 Windows 7 に OS を追加する

(2) [ライセンス契約書の条項に同意します]にチェックを入れ、[同意する]をクリックします。

| ライセンス テキスかをスクロールするにはPrate Upl/Prate Downを押します | / |
|--|----|
| 使用计算机的命 | // |
| Handbarg and Handler. The Dorivery statistics that Testancess the main statistics of the main statistics of the main statistics of the main statistics of the main statistics of the main of the main statistics of the main statistics of the main statistics of the main statistics of the main statistics of the statistics of the main statistics of the main statistics of the statistics of the main statistics of the main statistics of the statistics of the main statistics of the statistics of the statistics of the main statistics of the statistics of the statistics of the main statistics of the statistics of the statistics of the main statistics of the statistics of the statistics of the statistics of the statis | |
| | 1- |
| R#750 R#1410 | R. |
| Benchessenson Benchessenson | |

(3) アプリケーションランチャが表示されたら、[LB パーティションワーク ス 13]をクリックします。


(4) LB パーティションワークス 13 が起動します。この例では、パーティションは2つあり、Windows 7 がインストールされています。Windows 7 のパーティションを小さくして Windows XP をインストールするためのパーティションを作成します。

| 後LD Partition Works 13 にようこ?! | X |
|---|-----------------|
| ツール(1) 変更(に) ウイザード(い) ハードディスクロ) パーティション(ヤ) 表示(い) ヘルグ(い) | |
| | |
| 3.7=(7,7 th)(2 + (0)) | |
| システムで予約済み(C) | 1 |
| F9/5年1 (0) 9974年1 2445(20)240 F9/5年1 F9/5年1 F9/5 F9/5 | C-8708 |
| S M-T-172-200540/91/2005 | _ |
| ・ パーティングフォーマット ・ パッパー・ローは、漫画におバーティングエのフォーマットを二面内にます。 雪香:マーマントも行うビーティング上がデーがますべいあ去だれます。 | |
| Ŧ127777 | |
| ペーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) | 1 |
| | |
| NTFS FAT32 FAT36 Linux Ext2 Linux Ext3 FeiberFS | Apple HFS |
| 3P | ● A 报 ··· ● 🖬 : |

※ Windows 7はインストール方法によって、先頭に起動用のパー ティションが作成される場合があります。標準では、先頭に 100MBの『システムで予約済み』というボリュームラベルで起動 用のパーティションが存在します。このパーティションについて の詳細は、『5-4 Windows 7 のパーティション構成』をご参照く ださい。

| ペーシック ハードディス・ システムで予約済 100 MB NTFS | 7 0 (不明なモデル) み (G:) □→カル ディスク (D-) 799 GB NTFS | |
|--|--|--|
| Window テムパー | s 7 の起動用のシス ーティション | Windows 7 本体がインス トールされているブート パーティション |

- ※ Windows XPをインストールするには、2.1GB 以上のパーティションが必要になります。Windows XP 用のパーティションがあり、 容量が足りない場合などは、『空き領域の移動ウィザード』を使 用して、パーティションサイズを調整してください(詳細は、別冊 の公式ガイドブック『ステップ 14、15』をご参照ください)。
- ※ Windows XP のインストール先のパーティションを既に用意して あり、サイズ変更が必要でない場合は、『4-2 OS インストー ル前の設定を行う』に進んでください。
- (5) Windows 7 本体がインストールされているブートパーティション(サイズが大きな方です)を選択して、[パーティション]-[パーティションの移動/サイズ変更]を選択します。

| LB Partition Works 13 にようこそ! | | (B) X |
|---------------------------------------|---|--|
| ウールの 変更に ウィザード(い) ハードディスクロ) [] | トーティションクリ 表示(1) ヘルナトリ | |
| 200 ta- 1457 | パーティションの作成(D パーティションのフォーマットが) パーティンコンの削損(の) | 67F#8 ~35706 |
| ローカル ディスク (D-) | パーティンドンの特徴サイズ変更め ファイルシステムの変換()) | - |
| F) 約3- アイ格 フート単位に クラスタ単位に | ドライナステの利力加工の ドライナステの利用400 パーティシルの利用表示かい パーティシルのカウラィブの0 パーティシルのカウラィブの0 | 001: 000-000-005 200: 000 NUTS 200: 000 NUTS 200: 000 NUTS 200: 000 200: 000 200 |
| S AND HOLDER (PLANE | 変更() 表面テスト() 5、 ファイルシステムの整合性チェック(6) いたかのまこ 研想に) | |
| CON-T-RI \$00.21-74564 | プロパティア |] |
| 7425797 | | • |
| ペーショウ ハードディスク 0 (不明なモデル) | | |
| | በ - | |
| NTFS FAT32 FAT16 | 🔽 Unic (512) 🔽 Unic (513) | E RecerfS E Acole HFS |
| 銀択したパーティシェンの移動またはサイズ変更 | | 1P 🧶 A 视 🗢 🗊 ன : |

(6) パーティションの境界をドラッグしてサイズを小さくします。設定が完 てしたら「はい」をクリックします。



(7) 未割り当て領域にパーティションを作成します。未割り当て領域を 選択して、[パーティション]-[パーティションの作成]を選択します。



(8) 下記のダイアログが表示されます。ボリュームラベルにはインストー ル時に識別しやすいように、『XP』や『Win XP』などと入力しておきま す 設定が完了」たら「はい]をクリック」ます

| | 0 |
|--|------------|
| 🗞 Partition Works | <u>?</u> × |
| ディスク 0に本当に新しいパーティションを作成しますか? 新しいパーティションを(未割り当て), 30 GBに作成しようとしています。新しいパーティションのサイ 位置、ファイルシステムを選択してください。 | ズ、 |
| (ベーシック ハードディスク 0 (不明なモデル) | |
| (XP (F:) 30 GB NTFS | |
| 作成するパーティションの種類 | |
| 作成するパーティションのサイズ: 30744 - 7 MB~30,744 MB | |
| 前の未割り当て領域を指定してください: 0 🚽 0 MB~30,733 MB | |
| 後の未割り当て領域を指定してください: 0 🚖 0 MB~30,736 MB | |
| 新しいパーティション用にファイルシステムを選択してください(S)・「NTES | |
| 新しいボリューム ラベルを入力してください(V): XP | |
| ドライブ文字を指定してください(D): | |
| (w) 詳細オブション (はいいう) | N) |

- ※ボリュームラベルは半角英数字(10 文字以内)で入力してください。日本語は表示できません。
- (9) メイン画面に戻りますので、パーティションのサイズなどを確認してく ださい

| 2 2 0 | | Hundelin dent | Crester Adda | 011700 | |
|---------------------------------|--|--|---|--|--|
| 25 82- 1457 | | In reading | | | |
| システムで予約済 | љ (c-) | | | | |
| C | ドライブ文字 約3-45 ラベル タイフ ファイル システム ルート エンドリ イト 1000のためた | (C) 2/27 / // 2/27 / // 2/27 / // 2/27 / // NT ST //-7 | シリアル番号: 2A ーティションID: 0.0 15 バーラョン: 10 合計リイズ: 10 イションサイズ: 10 | 0-1082-4010-8788 2.NUES MB MB | |
| C 15-1020 | クラスタ単位のセクタ数 クラスタ単位のセクタ数 | | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | ND R | |
| Cont-Fit | ワンの位置やサイズを変更します。 フォーマット 単同したパーティンにのフォーマット を行たパーティンに上のテーダは | ・ をご案内にます。 すべて消費されます! | | R | |
| こうつうう ニーシック ハードディスク B (| 不明なモデル) | | | | |
| システムで予約済み 100 MB NTFS | ローカル ディスク (D-) 498 GB NTFS | | 30 GB N | TFS | |
| | | | | | |

ハードディスクのエラーチェックは行われましたか?ハードディスクやフ ァイルシステムに問題があると、処理に失敗する場合があります。まだ 行われていない場合には、『破棄する』ボタンをクリックして処理を中止 し、エラーチェックを実行後に操作を行ってください。手順は公式ガイドブ ックの『ステップ3 LB パーティションワークス13を使用する前の注意事 項』をご参照ください。

(10) 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[はい]をクリックします。



(11) 処理が開始されます。処理が完了したら[閉じる]をクリックします。



※ 処理中は電源を切ったり、処理をキャンセルしないでください。

以上、操作で、Windows XP をインストールするためのパーティションが作成されました。次節で、OS をインストールする前の設定を行います。

4-2 OS インストール前の設定を行う

OS のインストールを行う前に、Windows XP のインストール先以外の パーティションをすべて非表示にして、アクティブ パーティションを変 更する必要があります。この例では、先に説明したように、Windows 7 が起動用のシステムパーティションと、本体のブートパーティションに 分かれてインストールされている環境を例にご紹介します。

※以下の処理は、必ず製品 CD から起動して行ってください。

(1) Windows 7 のパーティションに対する設定

 Windows 7 の起動用システムパーティション(先頭の小さなパーティ ションです)は、標準で『システムで予約済み』というボリュームラベ ルになっています。Windows XP のインストール時や OS 選択メニュ ーで識別しやすくなるように、このパーティションのボリュームラベル を変更します。Windows 7 の起動用システムパーティションを選択し て、[パーティション]-[変更]-[ボリュームラベルの変更]を選択しま す。



2. ボリュームラベルに『7』や『Win 7』などと入力して[はい]をクリックします。ここで入力した内容が、OS 選択メニューで表示されます。

| 🗞 Partition Works | <u>? ×</u> |
|-----------------------------|------------|
| | |
| 新しいボリューム ラベルを入力してください(L): 7 | |
| | |

※ボリュームラベルは半角英数字(10 文字以内)で入力してください。日本語は表示できません。

3. 「2.」でボリュームラベルを変更したパーティションを選択して [パー ティション]-[パーティションの非表示]を選択します。

| 18 Partition Works 13 にようこそ! | | | 8 X |
|---|---|--|-----|
| ツール(T) 変更(C) ウィザード(M) ハードディスク(D) | パーティション(タ) 表示(り ヘルづか) | | |
| TOYEL ANT | パーティションの作成(C) パーティションのフォーマットを) パーティションの利用(D) | | |
| システムで予約済み (c.) | パーティションの移動/サイズ変更か) ファイルシステムの変換(V) | | - |
| 101- | ドライザ文字の割り当て(A) ドライザ文字の割除(3) | 5: 2AA0-1CE2-A01C-8708 D: 0-07.NTES | |
| アイネ トー フート単位の りうスタ単位の | パーティンシンの非表示(*) パーティンシンの表示(*) パーティンシンの表示(*) パーティンシンの称アクティブ(*) | 2:301 C: 100 MB V: 241 MB W: 241 MB M: 758 MB 7: (21) F- (3) | |
| C 11-7-12-2-0880/91787 WHICE/-9-22-0680/91787 | 変更(*) 表面テスト(*) こ ファイルシステムの警告性チェック(0) セクタの表示 編集 4.0 | | - |
| 日本ののないのないでは、東京にたバーラインシュル | プロパティア) | | |
| F47.0797 | | | • |
| マーショック ハードディンク R (不明なモデル) システムで予約済み - ローカル ディス: 100 MB NTFS 498 GB NTFS | ¢ (D.) | XP (F.) 30 GB NTFS | |
| NTFS FAT32 FAT16 | Linux Ext2 🔽 Linux Ext | 3 🧮 ReiserFS 📕 Apple HFS | |
| 選択したパーティションを非表示にします | | 19 💐 A 强 🐃 🚯 | - |

4. 確認画面が表示されるので[はい]を選択します。



5. 「2.」でボリュームラベルを変更したパーティションを選択して [パー ティション]-[パーティションの非アクティブ]を選択します。



6. 確認画面が2回表示されるので、[はい]を選択します。

| ঌ Partition Works | <u>? ×</u> |
|---|----------------------|
| パーティションを非アクティブに設定しますか? パーティション(C:)7、NTFSを非アクティブに設定 正く起動しなくなる可能性があります。 | しようとしています。コンピュータが |
| | (北い?) いいえ(N) |
| 🗞 Partition Works | <u>? ×</u> |
| ?? パーティションを非アクティブにしようとして きなくなる可能性があります。 実行しま | います。 システムが起動で すか? |
| (| まい(Y) [いいえ(N)] |

Windows 7 本体がインストールされているブートパーティションを選択し、[パーティション]-[パーティションの非表示]を選択します。



8. 確認画面が表示されるので、[はい]を選択します。



9. 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[は い]をクリックします。



 処理が完了したら[閉じる]をクリックします。Windows 7 がインストー ルされていたシステムおよびブートパーティションが 2 つとも非表示 (非表示: はい)、非アクティブ(アクティブ: いいえ)になっている こと、システムパーティション(起動用のパーティション)に関しては、 ボリュームラベルが変更されたことを確認します。



(2) Windows XP をインストールするパーティションに対する設定

1. Windows XP をインストールするパーティションを選択して、[パーテ



2. 確認画面が表示されるので、[はい]を選択します。



3. 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[は い]をクリックします。

| D | 🥎 Partition Works | ? × |
|----|------------------------------|------|
| ◎用 | 保留中の変更を適用しますか? | |
| | □ 今後このメッセージを表示しない (はい(ソ) いいオ | t(N) |

 ディスクビューで、Windows XP のインストール先パーティションがア クティブになっていることを確認します。



(3) その他のパーティションに対する設定

以下のように、Windows XP、Windows 7用のパーティション以外にも、 リカバリー領域やデータ用のパーティションがある場合には、それら のパーティションも(1)と同様の手順で非表示に設定してください。



- ※ リカバリー領域など、最初から[非表示]に設定されているパーティションもあります。その場合には設定は必要ありません。
- ※ ここで設定した内容は後で[表示]に設定し直すことになりますの で、どのパーティションを非表示にしたか分かるようにメモ等を残 してください。

4-3 Windows XP をインストールする

(1) Windows XP をインストールする前に前項の設定が行われているのか 必ず確認してください。パーティションの非表示の設定、アクティブ/ 非アクティブの設定が行われていないと、XP のインストールによって 既存の OS が起動できなくなる可能性があります。

【Windows XP をインストールするパーティション】 LB Partition Works 13 LLDC71 ウボード(1) ハードディスクロ) パーティションタ) 表示(1) へんけい F120 82- AB7 | XP (F) ペリアル番号: (254-7001-5470-860) ティション40: 0.07.4115 5 パーラョン: 301 会計サイズ: 30.08 ションサイズ: 30.08 1-4 うべル: 2 タイプ: 41 イル システム: 100 - F-BERG 864 MI 10日: 299 GB
 イブ: ほい
 日前に していま 457 De パーティンシンの日本/ワイズを更 変形にたパーティンシンの位置やサイズを更更します。 S アクティ はい ブ: ティンパンボンオーマットもご案がします。 トインパン上のデータはすべて適力されます。 非表示: いいえ ペーシック ハードディスクロ (不明なモデル) 0-28 7129 0-カル ディスク (*) 0-24 71-30 GB NTFS 📕 FAT22 📕 FAT16 🚺 Linux Ext2 📔 Linux Ext3 📕 ReiserFS 📕 Apple HFS NTES. 50 tors -

【上記以外のパーティション】



- (2) Windows XP のインストール CD を PC にセットします。
- (3) LB パーティションワークス 13 を終了して、メニューから、[再起動]を 選択します。



(4) Windows XP のインストール CD からブートされ、以下のメッセージが 表示されます。このメッセージが表示されている間に、何らかのキー (たとえば〈Enter〉キーなど)を押します。



上記のメッセージが表示されずに以下のエラーが表示された場合に は、PC のBIOS でCD/DVD からの起動が優先されているのかを確 認してください。BIOS の設定方法は PC によって異なるので、PC のマニュアルを参照するか、PC メーカへご確認ください。このメッセ ージは、キーを押すのが遅れた場合も表示されます。その場合は PC を再起動してやり直してください。

BOOTMGR is missing Press Ctrl+Alt+Del to restart

(5) Windows XP のインストールウィザードが起動します。[Enter]キーを押します。



※ シリアル ATA のハードディスクにインストールする場合、以下の画面 が表示されインストールできない場合があります。(ブルーバック (STOP エラー)が表示される場合もあります)

その場合は『5-6 Windows XP をインストールする際の注意点』をご 参考にドライバの追加処理を行ってください。

Kindows XP Professional セットアップ
コンピュータにハード ディスク ドライブがインストールされていませんでした。
ハード ディスク ドライブの電源が入っていて、コンピュータに正しく提続されていることを確認してください。ハード ディスクに関連するハードウェア 構成が正しいことも確認してください。め要に応じて、設置元の診断プログラ ムまたはセットアップ アログラムを実行してください。
セットアップを続行できません。セットアップを終了するには、F3 キーを押 してください。

(6) ライセンス契約を確認して<F8>キーを押します。

Windows XP ライセンス契約

マイクロソフト ソフトウェアのための使用許諾契 約書 MICBOSOFT WINDOWS XP PROFESSIONAL EDITION SERVICE PACK 3 重要 - 以下のライセンス契約書を注意してお読み ください 本使用許諾契約書(以下「本契約書」とい います)は、本契約書が添付されたマイクロソフト ソフトウェア (以下「本ソフトウェア」といいます)に関してお客 様 (個人または法人のいずれであるかを問いません)と Microsoft Corporation またはその関連会社(以下 総称して「マイクロソフト」といいます)との間に締 若される法的な契約書です。本ソフトウェアには、コ ンピュータ ソフトウェアが含まれ、それに関連した 媒体、印刷物(マミュアルなどの文書)、オンライン 文書または電子文書、およびインターネットペースの F8-同意します Esc-同意しません PageDown-次のページ

(7) キーボードの種類を選択します。通常は<半角/全角>キーを押してく ださい。

 Windows XP Professional セットアップ
 以下のいずれかのキーを押して、キーボードの種類を特定 してください。
 半角/全角 キー :106 日本語キーボードの場合 スペース キー :101 英語キーボードの場合 'S' キー :その他のキーボードの場合
 ・セットアップを終了するには、F3 キーを押してください。

(8) 確認画面が表示されるので<Y>キーを押します。



(9) ボリュームラベルを参考にインストール先を選択します。パーティショ ンをく↓><↑>キーで選択して<Enter>キーを押します。



(10) そのまま〈Enter〉キーを押してインストールを開始します。



(11) 以降はウィザードに沿って Windows XP のインストールを進めます。 インストールが完了すると、Windows XP が起動します。



以上で、Windows XP のインストールが完了しました。ただし、現状では Windows XP しか起動しません。次ページ以降の手順で OS インストール 後の設定、LB ブートマネージャーをインストールして、マルチブートでき るようにします。

4-4 OS インストール後の設定を行う

(1) LB パーティションワークス 13 を製品 CD から起動します。 製品 CD からの起動方法のついては、別冊の公式ガイドブック『ステ ップ6 CD 起動でパーティションを操作する』をご参照ください。



(2) [ライセンス契約書の条項に同意します]にチェックを入れ、[同意する]をクリックします。



(3) アプリケーションランチャが表示されたら、[LB パーティションワーク ス 13]をクリックします。



(4) LB パーティションワークス 13 が起動します。



(5) 先ほど非表示にした Windows 7 の起動用システムパーティションを選 択して、[パーティション]-[パーティションの表示]を選択します。



(6) 確認画面が表示されるので[はい]をクリックします。



(7) 先ほど非表示にした Windows 7 の本体がインストールされているブー トパーティションを選択して[パーティション]-[パーティションの表示]

| シール(1) 変更に() ジリット(4) ハートナイスの(5) ハ (シーン・ 通用 観察する 変更内容の表示 元に戻す ディスクビュー ヘルフ | パーティションの)をおいか「くいンか」 パーティションの7年時(C) パーティションの7月一マットの) パーティションの利除(D) | 10018740 NJ-7(H) |
|---|---|---|
| ローカル ディスク (+) 新り 1- ア・1 ア・1 ア・1 ア・1 ア・1 ア・1 ア・1 ア・1 | パーティションの移動がイス変更の) ファイルシステムの変換(の) ドライブを学る(割)当て(の) ドライブを学る(割)当て(の) ドライブを学る(別)当て(の) パーティシンのが非天下(の) パーティシンのが非天下(の) スーティシンのが非大下(の) 変更(か) 表面テスト(1) シーフィルシステムの警告(サチェック)(の) セクタの表示、編集(v) | # 5: 0800-0002-2000-0025 > 100: 0417_01#m.mirs 200: 041 + 7: 400.08 H#2: 55.08 H#2: 55.08 H#2: 55.08 H#2: 42.00 Fr/7: (V.V.2 #m.: (AL) |
| ディスクマップ | プロパティ(P) | - |
| ペーシック ハードディスク 0 ローカル ディスク (*) 100 MB NTFS | (0) | XP (C) 30 GB NTFS |

(8) 確認画面が表示されるので[はい]をクリックします。



- (9) その他にも非表示にしたパーティションがあれば、同様の手順で表 示状態に変更します。
- (10) 処理を実行します。画面上の[適用]ボタンを押して確認画面で[はい]をクリックします。



(11) 処理が開始されます。処理が完了しましたら[閉じる]をクリックします。

| 餋 全体の進行状況 100 % | | × |
|-----------------------------|-------------------------------|---|
| 全体の進行状況: √パーティション フラグの設定 | 操作の)進行状況: | _ |
| √パーティション フラヴの設定 | サブ操作の進行: | |
| | 経過時間: 00:00:00 残り時間: 00:00:00 | _ |
| | 17日1006446 [7日100歳6] | |
| 😮 詳細オプション | 開じる(C) | |

この手順で表示にできない場合には、弊社ホームページのFAQを 参考にパーティションIDを変更する方法をお試しください。 http://www.lifeboat.jp/support/faq/tbl_bm.php

4-5 LB ブートマネージャーをインストールする

(1) [ツール]-[LB ブートマネージャーのセットアップ]を選択します。



(2) LB ブートマネージャーのセットアップウィザードが起動します。[次 へ]をクリックします。



(3) 必要な設定を行い[次へ]をクリックします。

| B ブートマネージャー セットアップ ウィザード | 21 |
|---|--------------------------|
| ブートマネージャー オブション 適用したい設定項目を選択してください。 | P. |
| ブートメニューオブション 2第モード 東米(北上松)したOSが自動起動するまでの時間: 非表示モード LB ブートマネージャーのスタートアップメッセージの表示時間: LB ブートマネージャー記動用のホットキーを指定: | 15 원 쉽 15 원 성 티 곳 |
| 選択した設定を適用するには、 じかへ 3をクリックしてください。 | |
|] | < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C) |

- ※ 設定の各項目内容については、『5-1 LB ブートマネージャ ーのインストール/設定/更新』をご確認ください。
- (4) インストール処理が実行されます。完了すると以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。



(5) LB パーティションワークス 13 を終了します。 製品 CD を取り出して メニューから、 [再起動]を選択します。



(6) 再起動後には、以下のように LB ブートマネージャーの OS 選択メ ニューが表示され、Windows 7とWindows XP の切り替えが可能に なります。キーボードの<↑><↓>キーで、OS を選択し、〈Enter〉 キーを押すとOS が起動します。



※ 表示についての詳細は、『5-3 OS 選択メニューの表示上の注 意点』をご参照ください。 第5章 その他(Tips、注意点)

第5章 その他(Tips、注意点)

5-1 LB ブートマネージャーのインストール/設定/更新

LB ブートマネージャーは、LB パーティションワークス13 に統合され ています。LB パーティションワークス 13 をインストールして Windows 上で LB ブートマネージャーをインストール、設定することもできます し、製品 CD から起動して LB ブートマネージャーをインストール、設 定することも可能です。

- (1) インストール、または製品 CDから起動してLB パーティションワーク ス13 を起動します。
- (2) [ツール]-[LB ブートマネージャーのセットアップ]をクリックします。



(3) LB ブートマネージャーのセットアップウィザードが起動します。[次 へ]をクリックします。

| 咲 レヨブートマネージャー セットン | 89797979 | ĨX |
|--------------------|---|------|
| | LB ブートマネージャー セットアップ ウィザードへようこそ このウィザードはLB フートマネージャーの動作及び設定方法をご案内にます。 | |
| | 統行す いには、Dなへ3をクリックしてください。 | |
| | 〈言さ(8) (次へ(約)) キャンセ | ULCO |

※ LB ブートマネージャーがインストールされている場合には、以下の画面が表示され、設定を変更するか(構成)、アンインストールするか(無効)選択することができます。更新が行われない場合などは、一度『無効』を選択して LB ブートマネージャーをアンインストールしてから、再度セットアップしてください。

| (18ブートマネージャー ビットアップウィザード | دلتر |
|---|---|
| LB プートマネージャーは説に有効です。 適用したい時行を提供してくただい。 | 1 |
| r 86 | |
| このオブションを確認するとLBブートマネージャーやメニューオブションを設定できます。 | |
| このオブションを提供するとはB ブートマネージャーは開始になります。LB ブートマネージャ セスを以前の状態に探します。 | - も利用をして、記録のプロ |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| < 要8(0) | (10) 年七十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二 |

第5章 その他(Tips、注意点)

(4) 必要な設定を行い、[次へ]をクリックします。

| ×ij LB ブートマネージャー セットアップ ウィザード | <u>? ×</u> |
|---|--------------------------|
| プートマネージャー オプション 適用したい設定項目を選択してください。 | ₽ ſ ſ |
| | |
| ブート メニュー オブション | |
| ○ 通常モード | |
| ↓ 最後に起動したOSが自動起動するまでの時間: | 15秒 豊 |
| ○ 非表示モード | |
| LB ブートマネージャーのスタートアップメッセージの表示時間: | 15秒 🚖 |
| LB ブートマネージャー起動用のホットキーを指定: | F1 - |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 選択した設定を適用するには、 「次へ」 をクリックしてください。 | |
| | < 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル(C) |

【通常モード】

PC 起動時にLB ブートマネージャーが表示されます。

『最後に起動した OS が自動起動するまでの時間』のチェックをオン にすると、指定した秒数が経過すると、自動的に最後に起動した OS が起動します。

【非表示モード】

PC 起動時に LB ブートマネージャーが表示されずに、『Press F1 to start BootManager』というメッセージが指定した秒数表示されます。表示されている間に指定したキーを押すと、LB ブートマネージャーが起動します。キーを押さずに指定した秒数が経過すると、自動的に最後に起動した OS が起動します。

(5) インストール処理が実行されます。完了すると以下の画面が表示されます。[完了]をクリックします。

| 或 LB ブートマネージャー セットア | ップウィザード | <u>? ×</u> |
|---------------------|-----------------------------------|------------|
| | | |
| | LB ブートマネージャー セットアップ ウィザードが! た。 | 完了しまし |
| | ウィザードは全ての操作を正常に完了しました。 | |
| | このウィザードを閉じるには、完了をクリックしてください。 | |
| | < 戻る(B) 売7(F) | キャンセル(C) |

第5章 その他(Tips、注意点)

5-2 LB ブートマネージャーのアンインストール

LB ブートマネージャーは以下の手順で削除することができます。

- (1) LB ブートマネージャーをアンインストールすると、次回以降は、最後に起動した OS が起動するようになります。アンインストールする前に次回以降使用する OS を一度起動させてください。
- (2) PC を再起動します。LB ブートマネージャーが起動したら、く↓>キ ーで『Uninstall BM』を選択してくEnter>キーを押します。



(3) LB ブートマネージャーがアンインストールされ、再起動します。 最後に起動させた OS が起動します。

※ LB ブートマネージャーをアンインストールせずに、LB ブート マネージャーのインストール先のパーティションなどを削除す ると、以下の画面が表示されます。

| _ | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|------|------------------|----------------|--------|----------|----------------------|-------|------|----|-----|----------|
| | 04 | | | | | | | | | | | |
| | Drive | | primar primar | y 0 | 0 Vist | ta/2008 | 8 /7 /2009 | 3 | NTES | 5 | 5 | 7 212 |
| | | | prinar | у 0 | 2 411 | 2110 117 | -2000 | , , | | | | 11 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| Insei | rt sta | rtup | disk | in | floppy | drive | and | press | F2 | to | run | setup. |

<↓><↑>キーで OS を選択し、〈Enter>キーを押せば OS が起動します。完全にアンインストールしたい場合には、『5-1 LB ブートマネージャーのインストール/設定/更新』の手順で、LB ブートマネージャーを無効にしてください。無効にできない場合には、LB パーティションワークス13を起動し、[ハードディス ク]メニューから[MBR の更新]を実行してください。 第5章 その他(Tips、注意点)

5-3 OS選択メニューの表示上の注意点

LB ブートマネージャーを有効にすると、以下のような OS 選択メニュ ーが PC 起動時に表示されます。



OSの一覧に関しては、Windows XPの場合には、エディションに関わらず、「Win 2K/XP/2003」と表示されます。Windows Vista/7の場合には、OS に関わらず、「Vista/2008/7」と表示されます。そのため、OS を区別するためには、上記画面のように、『7』や『XP』などのボリュームラベルを入力して、OSを区別しやすくする必要があります。

※ OS 選択メニューで表示できるボリュームラベルは半角英数字で 10 文字までになります。日本語は表示できません。

ボリュームラベルを設定せずに、Windows Vista、Windows 7、 Windows 7 64bit 版をインストールしてマルチブートした例です。以下 のようにすべて同じ表記になるため、OS が区別できません。



ここでは、一例として Windows 上でボリュームラベルを設定する方法 をご紹介します。 第5章 その他(Tips、注意点)

(1) Windows を起動して、コンピュータを開きます。どのドライブにどの OS がインストールされているのか、事前にご確認ください。



(2) ボリュームラベルを変更したいドライブを右クリックして[プロパティ] を選択します。

| 望道 - プロパティ シス3 ★ 5気に入り ・//- 基 クランロード サフンロード サフンロード サスクトップ 重 ご気 テレた場所 マイカン ドカム ドカム ドカム ドカム トカム・カート | テムのプロパティープ ード ディスク ドライ ローカルティスク (ローカルティスク (ローカルティスク (ローカルティス) 空き様域 12.0 (ムー/パブル起復域 | プ (3) C() ローカ 層く(0) 新しいウィンドウで聞く(E) BitLocker を開始に下さ(B) 共用(h) ションの優元(v) | 更 ** いレ ティスク (Ei) 28/19.7 GB | ¥• 0 | 0 |
|---|--|---|------------------------------------|-----------|---|
| ★ 5気に入り ・ グランロード ● ダランロード ■ デスクトップ ■ 約2支にた場所 ■ ドチョント ■ ビデオ ■ オニックト ■ ビデオ ■ ロップ・ ● ビデオ | -ド ディスク ドライ ローカル ディスク (ション ディスク (・) (ション ディスク (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) (・) | ブ(3) C() 耐く(0) 新しいウィンドウで類く(E) BitLocker を開始に下る(B) 共用(H) 二期の/(ーションの現代(Y) | ルレディスク (Ei) 28/19.7 GB | _ | |
| N 22/2-9- | フロッピー テイ (A:) | フォーマット(A) コピー(C) ショートカットの作成(S) 名称の変更(M) | r.) | | |
| 9 ネットワーク | | プロバティ(R) | | | |
| ローカルディスク (C ローカル ディスク | 21)使用银话: |) 自計サイズ: ファイル システム | 19.6 GB NTPS | I ▲ 授 ¥ ♥ | 0 |
(3) このドライブには Windows Vista がインストールされているので 『Vista』と入力して[OK]をクリックします。



※ 以下の画面が表示された場合には[続行]をクリックします。

| 🔞 アク | |
|-----------|--|
| \otimes | このドライブの名前を変更するには管理者のアクセス 許可を提供する必要があります |
| | [続行] をクリックするとこの操作を完了します。 |
| | |

(4) 同様の手順で別のドライブのボリュームラベルを変更します。この 例では、Windows 7 の 64 ビット版がインストールされているドライブ を「Win 7 64」、Windows 7 の 32 ビット版がインストールされているド ライブを「Win 7 32」と設定しました。



(5) PCを再起動して OS 選択メニューを確認します。設定したボリュー ムラベルが表示され、 OS が区別しやすくなります。



5-4 Windows7のパーティション構成

Windows 7 は、インストール方法によっては、複数のパーティションに またがってインストールされます。そのため、Windows 7 の環境に OS を追加インストールする場合には注意が必要です。Windows 7 をご利 用の場合には、以下の手順に従って、どのようなパーティション構成 でインストールされているか事前に確認してください。

- (1) Windows 7を起動し、[スタート]-[コンピュータ]を右クリックして[管 理]を選択します。
- (2) コンピュータの管理が表示されるので、[記憶域]-[ディスクの管理]を選択します。



Windows 7 が 1 つパーティションにインストールされている場合

Windows 7 が 2 つのパーティションにインストールされている場合

| コンピューターの管理(に | ボリューム | レイアウト | 種類 | ファイル システム | 状態 | 操作 |
|--|---|---|----------------------|---------------------------------|---|------|
| 賞 システム ツール | (C:) | シンプル | ペーシック | NTFS | 正常 (ブート, ベージ ファイル, クラッシュ ダンプ, プライマリ パーティミ | ティスク |
| ③ タスクスケジュー 副 尺有フォルダー 副 尺有フォルダー 参 ローカル ユーザー ⑤ パフォーマンス 二 デバイス マネージ 副 影響域 | 当PARAGON (D:) ロシステムで予約済み | シンプル シンプル | ベーシック ベーシック | CDFS NTFS | 正葉 (フライマンバーティション) 正葉 (システム: アウティブ、プライマン パーティション) | 他の… |
| ■ ナイスクロ環境 サービスとアプリケー | e [| | 18 | 200 | | |
| | ロティスク0 ペーシック 80.00 GB 11 オンライン 正 | ステムで予約 10 MB NTFS 常 (システム。 | あみ アクティブ、 | (C:) 79.90 GB NT 正常 (ブート, | FS ページ ファイル、クラッシュ ダンプ、プライマリ パーティション) = | |
| | | ARAGON (D 19 MB CDFS 菜 (プライマリ | :) ノバーティシ | ·≥>) | | |
| | ■ 未割り当て ■ プラ・ | イマリパーティ | マション | | | 1 |



先頭の「システムで予約済み」というパーティションは、Windows 7の起動用のシステムパーティションになります。()内の説明に、 「システム」、「アクティブ」の表記が確認できます。

2番目 C パーティションは、Windows 7本体がインストールされた ブートパーティションになります。()内の説明に、「ブート」の表記 が確認できます。

5-5 他のOSのパーティションを非表示にする方法

マルチブート環境作成後に、起動 OS 以外のパーティションを非表示 にする方法をご紹介します。ここでは、一例として Windows Vista と Windows 7をマルチブートしている環境で、Windows Vistaを起動した 時は Windows 7のパーティションを非表示に、Windows Vistaを起動 した場合には Windows 7を非表示にする設定をご紹介します。

 PC の電源を入れ、OS 選択画面を表示されたら、Windows Vista を <↑×<↓>キーで選択して<Enter>キーを押して起動します。

| Dista/2008/7 Dista/2008/7 Uninstall BM | "7" "Uista" | Details: Hard Disk: 0 Partition: Primary 00 File System: NTFS Press "Enter" to boot |
|--|----------------|--|

(2) Vista が起動したら、[スタート]メニューを開き、[コンピュータ]を右ク リックします。表示されたメニューから[管理]を選択します。

| C インターネット Internet Explorer | | | 1 12 14 |
|--------------------------------|-----------|--|-----------|
| 電子メール Windows メール | buildpc | | |
| 🧻 ウエルカム センター | REAXON | | 165 |
| 19 Windows Media Center | ピクチャ | | - |
| 💟 Windows Media Player | ミュージック | | 24 |
| Windows フォト ギャラリー | 7-4 | | |
| Windows Live Messenger ダウンロー | ト 単近使った第日 | • | |
| Windows DVD メーカー | D>84-9 | I <(0) | |
| Windows カレンダー | ネットワーク | エクスノローラ(X) 管理(G) しを | ~5F5120#5 |
| 🟹 ×स्त्र | 报1275 | ネットワーク ドライブの割り当て(N)… ネットワーク ドライブの切断(C)… | |
| Windows ミーティング スペース | コントロール | テスクトップに表示(5) | |
| | 国定のプログ | と前の変更(M) プロパティ(R) | 1 |
| すべてのプログラム | ヘルプとりボー | | |
| 「家の開始 | P 0 - A | | |

(3) コンピュータの管理画面が表示されたら、[記憶域]-[ディスクの管 理] を選択します。

| ● コンピュータの管理 (ローカ/ | #12-4 14 | アウト 種類 | ファイル システム | 158 | 现得 |
|--|--|--|--------------------|------------------------------------|------------------|
| ■ システム ツール ● タスク スクシューラ ● オスク スクシューラ ● 日本ハント ビューブ ● 雪 県有ファルグ ● 雪 環境上 パフォーマン | ■7(E) 2>> ■ Vista (C:) 3>> | ブル ベーシック ブル ベーシック | NTFS NTFS | 正葉 (ブライマリノ(ーティ 正葉 (システム, ブート, ベ | 9-1300番号 他の後か |
| | ・ = ディスク 0 ベーシック 60.00 GB オンライン = CD-ROM 0 CD-ROM (D:) | Vista (C:) 19.75 GB NTF5 正常 (システム, ブ | - ト, ペー: - 日常() |) GB NTP5 プライマリバーディション | |
| <[| ★部)当て ■ ブ | ો મંજા લ-૧નકહ્ય | | | |

(4) Windows 7 がインストールされているパーティションを右クリックして、 表示されたメニューから[**ドライブ文字とパスの変更**]を選択します。

| 書 コンピュータの管理(ローカル 当 システム ジール) ③ タスク スケジューラ | | 操作 | | | | | |
|--|---|-----------------------------------|---|-------------------|---------------|--|--|
| | ション) ージ ファイル, アクティブ, クラッシュ ダンプ, プライマリ パーティション) | | | | ディスクの管理 | | |
| ・ ・ ・ | 騒く(0) エクスプロー | | | -5(E) | ティブンI、アマーカ(M) | | |
| ・四記書紙 | | | F54J24 | ドライブ文字とパスの変更(C) N | | | |
| (会) ディスクの管理 | 21 | | | ·(F) | 13 | | |
| B 9-EX27999-93 | | のムーエビホ のムーエビホ のムーエビホ | ポリュームの記録(X) ポリュームの圧積(H) ポリュームの削除(D) | | | | |
| | | | プロパティ(| P) | | | |
| | | 7 へルプ(H) 40 「二 (プライマリノ(ーティション」 | | | | | |
| | 4 ¹ CD-ROM 0 CD-ROM (D:) メディアなし | | 1-0/1-0/100 | 21270 | | | |
| | ■ 未動り当て ■ プ | ライマリ パーティション | | | | | |

(5) [削除]をクリックします。

| E: (7) のドライブ文字とパスの変更 | × |
|--|---|
| 次のドライブ文字とドライブ パスを使ってこのボリュームにアクセスする(A): | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 追加(D) 変更(C) 削除(R) | |
| OK キャンセル | |

(6) 警告画面が表示されます。[はい]をクリックします。



(7) 処理が完了したらコンピュータを開いて確認します。以下のように、 Windows 7 がインストールされたパーティションがコンピュータに表示されなくなります。



(8) PC を再起動して、今度は Windows 7 を起動して Vista のパーティションに対して同様の設定を行います。

以上の操作で、別の OS のパーティションを非表示にすることができます。

※ パーティションを表示させたい場合には、ディスクの管理画面のド ライブ文字とパスの変更画面で[追加]をクリックします。

| 7 のドライブ文字とパスの変更 | × |
|--|---|
| 次のドライブ文字とドライブ パスを使ってこのボリュームにアクセスする(A): | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| 追加(D) 変更(C) 削除(R) | |
| OK キャンセル | |

任意の文字を選択して、[OK]をクリックすれば、ドライブ文字が割り 当てられ、コンピュータ上に表示されるようになります。

| 7 のドライブ文字とパスの変更 | X |
|---|----------|
| ドライブ文字またはパスの追加 | X |
| 7 の新しいドライブ文字またはパスを追加します。 ● 次のドライブ文字を割り当てる(A): ○ 次の空の NTFS フォルダ(こマウントする(M): | E – |
| | 参照(B) |
| ОК | キャンセル |
| | 477011 |

5-6 Windows XPをインストールする際の注意点

SATA 接続のハードディスクに、Windows XP のインストールしようとすると、以下の画面が表示されインストールできない場合があります。 (ブルーバック(STOP エラー)が発生する場合もあります)

このエラーは、Windows XP のインストール CD に、ご利用の PC の SATA コントローラや RAID コントローラが組み込まれていない場合に 表示されます。この場合には、手動でドライバを追加する必要があり ます。



追加はフロッピーを使用して行いますので、マザーボードや RDID ボードに付属するドライバ フロッピーがないかご確認ください。ない場合にはメーカのサイトからダウンロードしてください。

- ※ フロッピー ドライブは内蔵タイプが必要です。外付け(USB 接続 など)は対応しません。
- ※ ドライバの詳細は PC のメーカ等にご相談ください。
- ※ フロッピードライブがない、用意できない場合には、下記の FAQ を参考に XP のインストール CD をカスタマイズすることで、XP の インストールが可能になります。ただし、下記の FAQ の内容につ いてのサポートは一切行いませんので、ご了承ください。 http://www.lifeboat.jp/support/faq/tbl_bm.php

フロッピーを使用してのドライバの追加手順の以下の通りです。

(1) Windows XP のインストール CD を入れて、PC を起動(再起動)して セットアップ画面を起動します。セットアップ画面(青い画面)が表示 されるとすぐに、画面下部に『Press F6 if you need to install a third party SCSI or RAID driver...』と表示されるので、〈F6〉キーを押しま す。



※このメッセージは数秒間しか表示されません。

(2)以下の画面が表示されます。<S>キーを押します。



(3) ドライバが入ったフロッピーディスクをドライブにセットし、〈Enter〉キ ーを押します。



(4) ドライバの一覧が表示されるので、追加するドライバを選択して <Enter>キーを押します。



(5) <Enter>キーを押します。セットアップの開始画面が表示されるので、 XP のインストールを開始してください。



2009 年 10 月 9 日 第 2 版 第 1 刷発行 (非売品) 著作 株式会社ライフボート 発行所 株式会社ライフボート

東京都千代田区神田神保町 2-2-34

©2009 株式会社ライフボート

Printed in Japan 落丁、乱丁はお取替えいたします。